

倫理委員会承認日～2024年12月31日の間に 当科において弱視の治療を受けられた方及びご家族の方へ

「光干渉断層計を用いた弱視の病態解明」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学附属病院眼科 視能訓練士 荒木俊介
研究分担者 川崎医科大学附属病院眼科 視能訓練士 後藤克聡
川崎医科大学眼科学1 教授 三木淳司

1. 研究の概要

弱視は小児の視力障害の原因として頻度の高い疾患です。弱視は肉眼的観察では視力障害を説明できる眼球の形態的異常を確認できませんが、眼球組織の微細構造を詳細に捉えることが可能な光干渉断層計(OCT)を用いることで、何らかの形態的異常を捉えられる可能性があります。本研究では、OCTで網膜血管構造を描出する技術を用いて、弱視診療における客観的指標の探索を目的としています。

なお、OCTは侵襲のない検査で、年齢を問わず弱視の患者さんにも広く実施されている検査です。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

倫理委員会承認日～2024年12月31日の間に川崎医科大学附属病院眼科において弱視の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において弱視の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに治療前後のデータを選び、網膜血管構造に関する分析を行い、弱視治療による網膜血管構造の変化について調べます。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、視力、網膜血管密度、眼軸長、屈折値 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学附属病院眼科内の施設可能な保管庫で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年3月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 眼科 視能訓練士

氏名： 荒木俊介

電話：086-462-1111 内線 24647（平日：8時30分～17時00分）

E-mail：s_araki@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

本研究は、公益財団法人川崎医学・医療福祉学振興会 研究助成金の支援を受けて実施されます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。